

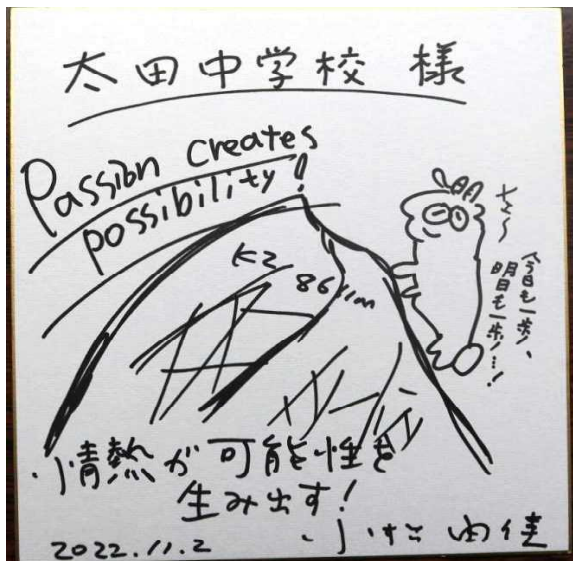


コツコツ とことん

大仙市立太田中学校
令和4年11月4日
NO. 92



うららかに たくましく ~ 耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~



短い一生で心惹かれることに多くは出会わない
もし見付けられたら 大切に…大切に…

写真家 星野道夫

情熱が可能性を生み出す!!

11月2日(水)、登山家であり写真家、太田地域にもゆかりがある小松由佳さんを講師に、大仙市副市長、教育長、太田地域選出の大仙市議会議員を始めとする来賓、地域の聴講希望の方々、本校関係者など、200名以上が参加し、太田地域自治組織連絡協議会と大仙市が主催する文化講演会が本校体育館で盛大に開催されました。

小松由佳さんの簡単なプロフィールを紹介します。
小松さんは、秋田市出身で秋田北高等学校に入学してすぐに登山部へ入部しました。太平山に初めて登ったことをきっかけに山の世界に魅了され、国体やインターハイに出場するなど競技登山に打ち込みましたが、「決められたルートを急ぐだけの山」に満足できず、進学した東海大学では、初の女性主将を務め、雄大な自然と格闘する本格登山を志しました。2006年には日本人女性として初めて、世界第2の高峰K2(8611m)に登頂し、同年度の植村直己冒険賞、秋田県県民栄誉章を受章しました。その後、風土と共に生きる人間の営みに魅せられ、東西アジアを旅しながらフォトグラファーに転身し、2012年からシリア難民をテーマに取材を続け、東京都でシリア人の夫と暮らし、異文化共生について考える日々を送っています。なお、小松さんのお父さんは太田出身で、お祖母さんは太田にお住まいです。

講演では、エベレスト登山やK2登頂、難民取材や異文化共生等々について写真を織り交ぜながら、その大変さや大切さ、考え方の変化や自らの考え、教えられたことなどを分かりやすくお話くださいました。

山が教えてくれたこと~~~~~

- ①チャンスはいつ降ってくるかは分からない。
チャンスをつかむ準備を常にしておくこと
チャンスはときに一度きりである
- ②目の前の小さなことこそ大切に
小さなステップの積み重ねが大きな挑戦に繋がる
- ③物事をクリエイティブな視点で捉える
何かが起きたとき、それをどう捉えるかがその後の道を分ける
経験したこと全てを価値に変えていける
- ④自分自身の視点、哲学をもつ
自分の行動、判断に責任をもつ
どんなに高い技術があっても、それを使うための自分の軸が固まっていなければ、その技術を本当に生かすことはできない
- ⑤価値あることの実現には時間がかかる
一善きことはカタツムリの速度で進む(ガンジー)ー
効率性や利便性の追求だけでは、本当に価値あるものに到達できない

~~~~~



講演後多くの子どもたちから質問がありましたが、それにも丁寧に答えていただきました。

ノンフィクションには迫力と説得力があります。先月の、プロ冒険家阿部雅龍さんの講演、今回の小松由佳さんの講演とその機会に恵まれた本年度の太田中。チャレンジ精神をもち、失敗には言い訳をせず、自分ができる最高の一生懸命、全力で自己の可能性を高めようと努力をすることが、何かを成し遂げた人たちに共通することだと感じます。チャレンジの大小はありますが、そんな気持ちと行動を太中生にと願っているところです。